

ブイアール

VR動画サービス プロジェクトマネージャー

VR Contents Service Project Manager



360度に世界が広がる
VR動画コンテンツを
多くの人に観てもらえる
未来をつくります

VRという仮想現実の世界は、専用のゴーグルをのぞくだけで、私たちがさまざまな場所に連れて行ってくれます。観光地の風景や音楽ライブをVR動画で配信する360Channelのプロジェクトマネージャー、澤木一晃さんにお話を聞きました。

Q VR動画サービスのプロジェクトマネージャーとはどんな仕事ですか？

VRは、英語の「バーチャルリアリティ」を略した言葉で、日本語では「仮想現実」と呼ばれます。360度撮影できる専用のカメラで撮られた動画を「VRゴーグル」と呼ばれる専用の機器を利用して、VRゴーグルのなかに取りつけられた画面を観ると、まるでそこで見ているかのような映像が広がります。

ぼくが働いている360Channelは、こうしたVR動画のコンテンツ(番組)をつかって配信する会社です。人気コンテンツには、飛行機の機体内部が見学できる「機体工場見学」や、音楽ライブを体感できる「VRライブ」などがあります。ぼくの仕事は、これらのコンテンツをさまざまな人に楽しんでもらうために、配信する環境を整えることです。例えば、360ChannelのWEBサイトで配信する場合は、ゲーム、音楽、スポーツなど、分野ごとに分けて見やすくして見たいコンテンツがすぐにわかるようにつくります。このほか、イベントを企画して、訪れた人にVRの世界を体感してもらうサービスを行うこともあります。

仕事は、コンテンツごとにプロジェクト(計画)を立て、チームを組んで行います。チームにはプログラミングを行うエンジニアや、デザインを行うデザイナーなど、10~15人のメンバーがいます。ぼくはプロジェクトマネージャーとしてチームをまとめ、仕事の進み具合全体の管理もしています。

また、コンテンツをどのくらいの人に観てもらえれば、利益が出るかを計算するのも、ぼくの仕事です。そのほか、イベントを行うときは、コンテンツ内容に合わせた企画を考え、協力してくれる会社も探します。これらすべてに責任をもち、チームのメンバーに指示を出しながら、プロジェクトを進めていくのがぼくの役割なのです。



VR動画を観るときはVRゴーグルを装着。手に持っているのは専用のコントローラー。

Q どんなところがやりがいなのですか？

VRの技術は今後ますます発展し、さまざまVR動画が配信されていくはずです。その先がけとして、この仕事に関わっていることは誇りであり、やりがいです。

また、ぼくの立てたプロジェクトによって仕事の進む方向が決まり、チームのメンバーが動いてくれているのだと思うと、大きな責任を感じます。しかし、責任が大きければ大きいほど、計画通りにたくさんの人に観てもらえることができたときの喜びは大きくなります。その感動をメンバーといっしょに分ち合えるのも、やりがいになっています。



VRゴーグルをつけると、360Channelで配信中のVR動画のコンテンツが、自分を取り囲むように現れる。

Q 仕事をする上で、大事にしていることは何ですか？

自分の仕事だけでなく、チームのメンバーに頼んだ仕事に関しても、「自分の仕事」という意識をもつことです。

ぼくはプロジェクトマネージャーとして、社内のエンジニアやデザイナーをまとめるほか、他の会社の制作スタッフにも協力を求めて仕事をしています。イベントを開催するときなど、多いときには40人以上を率いることになります。ぼくは、彼らが自分の技術を十分に活かせるように、信頼して仕事をまかせています。しかし、彼らの仕事は、ぼく自身の仕事でもあることを忘れないことも大切です。例えば、あるメンバーにお願いした仕事が期限までに終わらなかったとします。このとき、そのメンバーを責めるのではなく、仕事の進み具合を把握していなかった自分のせいだと考えます。プロジェクトに関するすべての責任を負うのが、チームを率いるぼくの仕事だと思うからです。



仲間の行政保健師と快方に向かってい
る患者さんについて、
情報を共有。ふたり
とも自然と笑顔に。

Q 仕事をする上で、大事にしていることは何ですか？

つねに勉強する姿勢を忘れないことです。感染症のなかには、新型コロナウイルス感染症のように、予防法や治療薬が確立されていない未知のウイルスや細菌があります。世界中で日々研究が進められているので、つねに新しい知識を得られるように、情報収集は欠かせません。

例えば、感染症への対応は「感染症法」という法律で定められています。法律が改正されると私たちの仕事内容も変わるため、国から連絡が来ることになっています。しかし、毎日たくさんの量のメールが来るので、大事な連絡を見逃さないように気をつけています。そのほか、医療や健康に関する法律を考える国の機関である厚生労働省のホームページや新聞、ニュースもこまめにチェックしています。

Q なぜこの仕事を 目指したのですか？

私は、生まれつき病気がちで、小さいころから手術と入院を何度もくりかえしていました。中学生になってからも、体調をくずしてよく保健室の先生にお世話になっていたため、将来は看護教諭になろうと自然に思うようになり、看護系の専門学校に進学しました。

入学後、授業や実習を通して、保健師の仕事に興味をもちました。看護師はすでに病気になってしまった人のお世話をしますが、保健師は予防にもつとめることができるからです。なかでも、はば広く地域住民に関わり、人々を支援する行政保健師の仕事に強くひかれました。そのため、専門学校で看護師免許を取得した後、別の看護系大学に入り直し、保健師になるための勉強をして資格をとりました。

Q 今までに どんな仕事をしましたか？

私が担当する地域には、高齢者の結核患者さんが多くいます。そのため、老人ホームや介護施設など的高齢者施設の職員を対象にした研修会を企画し、感染予防の方法や、患者さんへの対処方法などを伝えてきました。また、感染者と接触した人の健康診断もよく行っています。

感染拡大を防ぐには、私たち行政保健師が、正しい知識をもっておくことが大切なので、保健師向けの専門研修も用意されています。例えば、新人や新しく感染症担当になった保健師向けに、県が開催する研修会があります。結核の場合は、結核研究所が主催している医療職向けの勉強会が1年に1回開催されます。こうした場所には積極的に参加し、勉強を欠かさないようにしています。



ノロウイルス感染症の
予防策や、結核の症
状を伝えるパンフレット。
地域住民の理解をうな
がすため、保健所だけ
でなく、さまざまな施設
に置いている。

Q 仕事をする上で、難しいと 感じる部分はどこですか？

感染症に対する偏見をなくし、正しい知識を伝えることに難しさを感じます。

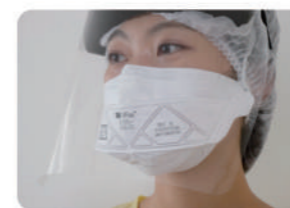
人から人に感染する感染症の場合、「うつしてしまった」という加害者意識や「うつされた」という被害者意識をもつ人が少なくありません。感染症がきっかけで、職場や学校内での人間関係がくずれてしまうこともあります。

感染症の患者さんがいじめや誹謗中傷の対象になったという話を聞くと、とても悲しい気持ちになります。世界の長い歴史のなかには、感染症の患者が差別されたり、不当なあつかいを受けたりしていた時代もありました。そうした悲しい歴史をくりかえさないためにも、正しい知識を普及することが必要であると感じています。

Q ふだんの生活で気をつけて いることはありますか？

病気の予防や治療を支える仕事をしているため、自分自身の健康も気づかうように心がけています。具体的には、バランスのよい食事や生活リズムを整えることを意識しています。私は運動があまり得意ではないので、寝る前にストレッチをして体をほぐすようにしています。

仕事で感染者と対面するときは、専用のマスク、防護服、手袋を身に着けています。そのため、対面中に感染することはまずありません。しかし、防護服を外すときの手順をまちがえてしまうと、自分も感染するおそれがあります。仕事のときはふだん以上に注意をはらい、最後まで気をぬかないように心がけています。



感染者と対面するときは、自分自身が感染して別の人の人に移さないように、細心の注意が必要。つかう使い捨ての衛生キャップをかぶり、医療用のマスクをした上で顔全体をおおうフェイスシールドも着用。さらに、防護服とビニール手袋を着けて対面する。

Q これからどんな仕事を していきたいですか？

住民の健康を守るため、集団検診の実施や健康への意識が高まるような企画を考えていきたいです。

以前、県庁が主導する企画で、感染症のリスクが高い高齢者施設で、結核の集団検診を実施したことがありました。日頃から私は、集団検診ができれば、もっと効果的に感染を防げるのではないかと考えていたこともあり、とてもよい企画だと感じました。

こうした企画を実行するにはたくさんの予算が必要です。そのため、保健所を監督する県庁の職員が企画を提案しなければ、実施されることはありません。いつか私も地域全体を動かすような仕事がしたいと思っています。



・ バインダー ・

PICKUP ITEM

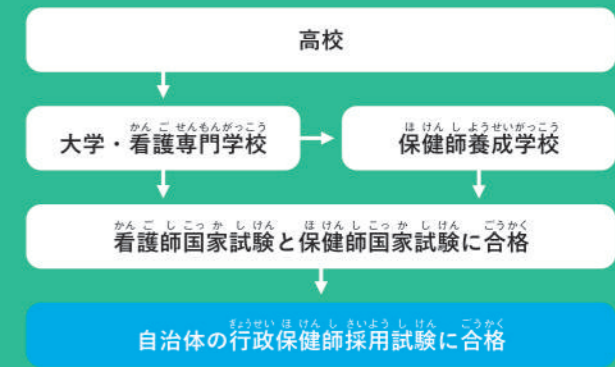
バインダーは、大沼さんの愛用品。医師から送られてきた患者さんの「感染症発生届」などを入れていく。発生届は、感染症ごとに決められた用紙があり、症状や感染原因などの情報が書かれている。



・ 「発生届」用紙 ・

行政保健師になるには……

保健師になるには「看護師免許」と「保健師免許」のふたつの国家資格が必要です。資格を取得するには、卒業と同時にふたつの受験資格を得られる大学や専門学校に進むか、看護師免許を取得した後に保健師養成学校で保健師免許の取得を目指す方法があります。取得後は、各自治体で実施する保健師採用試験に合格することで、行政保健師になることができます。



用語 ※ ノロウイルス感染症 → 乳幼児から高齢者まで、はば広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こす感染症。

おもな症状に、腹痛、下痢、吐き気、嘔吐などがある。

Q この仕事をするには どんな力が必要ですか？

広報は、会社やクラウドファンディングについて、何を聞かれても答えられるように、つねに準備しておかなければいけません。そのため、どんなことでも貴重な情報として自分のなかに取り入れていく学習意欲が必要だと思います。しかし、どんなに準備をしても、取材などでは、予想もしないような質問を受けることがあります。そういうときでもあせらずに、もっている知識のなかから答えを探して伝えられる「柔軟な対応力」も必要ですね。



情報を伝えるときは、根拠となるデータを見せて、説明することも心がけている。

Q 中学生のとき どんな子どもでしたか？

2歳から14歳まで、父の仕事の関係で、日本とアメリカを行ったり来たりする生活をしていました。アメリカの中学校では、放課後の課外活動が盛んで、私は学校のミュージカルプログラムによく参加していました。「将来はミュージカル俳優になりたい」と思うようになるくらい楽しかったです。また、学校全体が盛り上がる、ハロウィンの仮装コンテストもよい思い出です。好きだったミュージカル『オズの魔法使い』の主人公、ドロシーの仮装をしたこともありました。翌日は「トリック・オア・トリート」でもらったお菓子を食べて盛り上がり、みんな寝不足だろうということで、学校が休みなんです。おもしろいですよね。授業は、ほとんどが「実践型」でした。例えば、歴史の授業では、自分が歴史上の人物になったつもりで、ほかの国と交渉したり、戦略を考えたりして歴史を疑似体験します。教科書を読むだけでなく、実際に体感しながら学べるので、とても理解しやすかったです。

ミュージカル『WORLD GOES ROUND』に挑戦したときの舞台DVD。

学校の合唱コンクールでは、ピアノの伴奏者として活躍。そのがんばりが、認められて表彰された。

卒業後は日本への帰国が決まっていた加賀美さん。卒業アルバムのお寄せ書きには、「また会おうね!」という友だちからのメッセージが並ぶ。

Misato Kagami
singER creatER micER
friendliER humER

Q 中学のときの職場体験は どこに行きましたか？

私が住んでいたのは、アメリカのカリフォルニア州だったのですが、そこでのキャリア教育の授業は高校で組まれていたようです。そのため、授業としての職場体験はしませんでした。でも、ふだんの授業から、自分の将来について考えさせるような内容が多かったような記憶があります。ボランティアも盛んで、私も夏休みの期間、保育園やホームレスのための施設などで活動しました。

Q ボランティアでは どんな印象をもちましたか？

ボランティアで行った保育園には、スペイン語を日常語としてつかう子どもたちがたくさんいました。私はスペイン語が得意ではなかったので大変でしたが、覚えてたの単語を使って会話をするのは楽しかったです。また、保育園でも、ホームレス施設でも、実際に働いている人たちは表情がとても明るく、生き生きとしていました。自分が本当にやりたいことを仕事にした人は、こういう幸せな人生を歩めるんだと、あこがれたのを覚えています。私もボランティアで出会った人たちのように、生き生きと自分の道を歩んでいきたいです。

Q この仕事を目指すなら 今、何をすればいいですか？

いろいろな人と積極的に話をし、コミュニケーション能力を身につけてください。広報は、会社内の人とはもちろん、会社以外の人とのコミュニケーションも必要な仕事です。会話のキャッチボールがうまくできれば、信頼関係を築くことができ、会社のことや、クラウドファンディングのことを知ってもらえるチャンスが増えます。また、自分が興味を感じる商品やサービスについて、どんな歴史があるのか、将来、人気が出そうかなどを調べるくせをつけてください。この習慣を身につけると、新しい情報を敏感にキャッチできるようになりますよ。



加賀美さんの夢ルート

- 小学校 ▶ 動物に関わる仕事
動物が大好きで、地元にあった小さなふれあい動物園でボランティアをしたことも。
- 中学校 ▶ 歌手かミュージカル俳優
歌やダンスで表現する仕事にあこがれた。
- 高校 ▶ 外交官
現実的な仕事を考えるようになり、英語を活かせる外交官に興味をわいた。
- 大学 ▶ 宣伝や広報の仕事
人を笑顔にする仕事で英語を活かしたいと思うように。

- 今できること -

ふだんの暮らし

クラウドファンディングを多くの人に知ってもらうには、まず自分が理解している必要があります。インターネットには、クラウドファンディングで叶えたい活動を紹介するさまざまなサイトがあるので、見てみるとよいでしょう。基本的な仕組みを理解するとともに、人々がどんな挑戦をしたいと思っているのか、それに対しどのくらいの人に応援しようとするのかにも注目してください。その情報を、友だちが興味をもつように伝える練習をすることで、広報の仕事にも生きていきます。

- 国語** 自分の意見を相手に正確に伝えるための表現力をきたえましょう。また、相手の考えや、気持ちをくみ取れるようにコミュニケーション能力を養いましょう。
- 社会** クラウドファンディングの基本的な考え方は、経済の仕組みについて学ぶ公民の知識が基礎になります。サービスや商品がどのように流通するのか理解しましょう。
- 数学** クラウドファンディングによって集まった資金や支援者の人数から、人気の傾向を読み解く力が必要です。数値化されたデータを分析できるようになりましょう。
- 英語** クラウドファンディングは、インターネットで世界中に発信するものです。読み書きを中心に学びましょう。

用語 ※トリック・オア・トリート ⇒ハロウィンに子どもたちが、近所の家々をまわり、お菓子をもらうときに使う言葉。

英語で、「お菓子をくれないと、いたずらするぞ!」の意味。